

1 本で調べて、まとめよう

- 小テーマが決まったら、どんな方法で調べるかを考えましょう。
- 「そのままカード」に本の内容を書き写すとき（引用）は、「」を付けて自分の文章と区別しましょう。
- 勝手に人の作品を使ってはいけません。
- 作品をつくった人の権利を守る法律を著作権といいます。

(1) 7つのミッションをクリアしよう

① ふしぎを見つけよう [何かについて疑問に思ったことをたくさん書く]

(例) アリについて ○アリは何で小さいの? ○何で女王アリがいるの? ...

② 解決方法を考えよう

図鑑 百科事典 インターネット ファイル資料

③ そのままカード〔引用〕(自分で用意)に書こう

疑問	そのままカードの番号 ()
調べたこと	イラストなどをかこう
出典	

④ まとめカード(自分で用意)、感想カード(自分で用意)を書こう

そのままカードの番号 ()	
わかったこと	
感想(思ったこと)	

⑤ テーマを決めよう 調べたことからテーマを1つに絞り、自分の言葉で表現

(例) 「牛乳のおいしいひみつ」「雨雲が教えてくれたこと」

⑥ まとめかたを工夫しよう

相手にアピールするよう、文字の大きさや色を工夫して、八つ切り画用紙に表記

⑦ カードをまとめよう これまでに作成した「まとめカード」や「感想カード」、写真・図・イラスト(資料コピーの切り抜き)などをあつめて、レイアウトしながら学習したことを1枚の紙にまとめる。

作成した日 年 月

年 組

テーマ

そのままカード

そのままカード

図やイラストなど

感想カード

まとめカード

資料名
出版社など

著者名

2 ファイル資料を作ろう

- 新聞の記事の中から、自分が保存しておきたい記事を切り抜いて整理し、自分用のファイル資料を作ろう。
- 決まった大きさの台紙にはって、件名、日付、出どころを書きます。
- ファイル資料をつくるときに気をつけることを考えましょう。

(1) ノートやスクラップブックに、切り抜いたファイルをはって資料をつくる場合、どのようなことに気をつけたらよいでしょう。

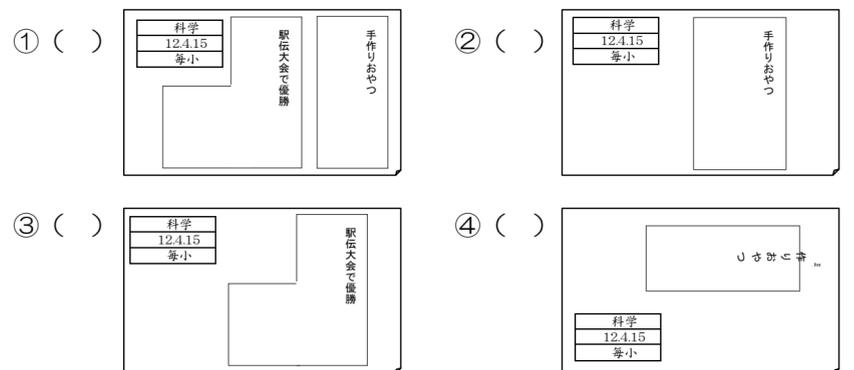
- () 記事がどこからどこへ続くか(組版)をよく見て切りぬく。
- () 記事の内容に関係なく、日付順にはる。
- () 同じテーマや連続記事は、一冊にまとめる。
- () 記事を切り抜く前に、新聞名や雑誌名を記事のすみに書く。
- () 記事を切り抜く前に、日付や発行日などを記事のすみに書く。
- () 記事の組版の形どおりではなく、大きく四角に切りぬく。

(2) 画用紙など少し厚めの紙を台紙にして、ファイル資料をつくる場合は、どのようなことに気をつけたらよいでしょう。

	気をつけること	○
台紙の大きさ	記事の大きさにそろえて、台紙の大きさを変える	
	記事に関係なく、台紙の大きさは同じにする	
記事のはりかた	1枚の台紙には、1つの件名の記事をはる	
	1枚の台紙に、いろいろな件名の記事をはる	
資料の件名	台紙ごとに書いておく	
	記事を見ればわかるものは書かない	
新聞・雑誌名 日付	台紙ごとに書いておく	
	切り抜いた記事のすみに書いておく	
資料の整理	記事の日付順に箱に入れる	
	件名の五十音順に箱に入れる	

情報の応用

(3) 切り抜いた記事を台紙にはるときの適切なはり方に○をつけましょう。



(4) 切り抜いた記事を台紙にはり、件名・日付・出所を書き、記事を要約したり、感想を書いたりして、オリジナルのファイル資料をつくろう。

「件名」の例
 宇宙 化石 気象 警察 下水道 公害 工業
 ごみ 米 消防 植物 すまい 星座・星 地球温
 暖化 伝統工芸 伝統・文化 動物 年中行事 農業
 昔の暮らし リサイクル 歴史 など

件名	
日付	
出所	

切り抜いた記事をはろう

記事を自分の言葉でまとめよう

わからない言葉を辞典で調べよう

記事を読んだ感想・意見を書こう

3 新聞を作ろう

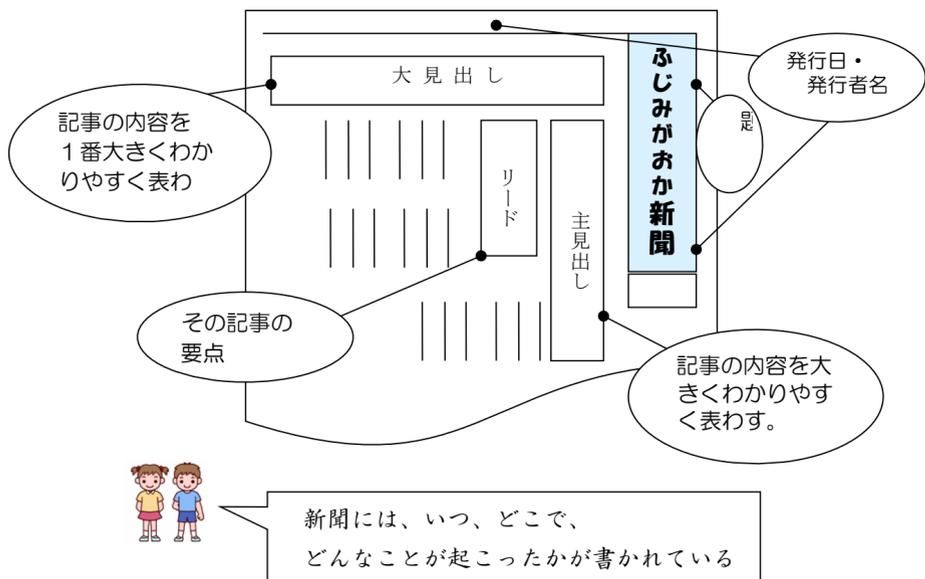
- 何のために（新聞作成の目的）、誰に（読んでもらう対象）、何を（内容）をはっきりさせましょう。
- 文章は、「いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように」を基本にして書きます。
- タイトル、発行日、発行者名、見出し、小見出し、リード文、編集後記(感想)、図・写真などで構成します。

(1) 見てきたことをまとめよう

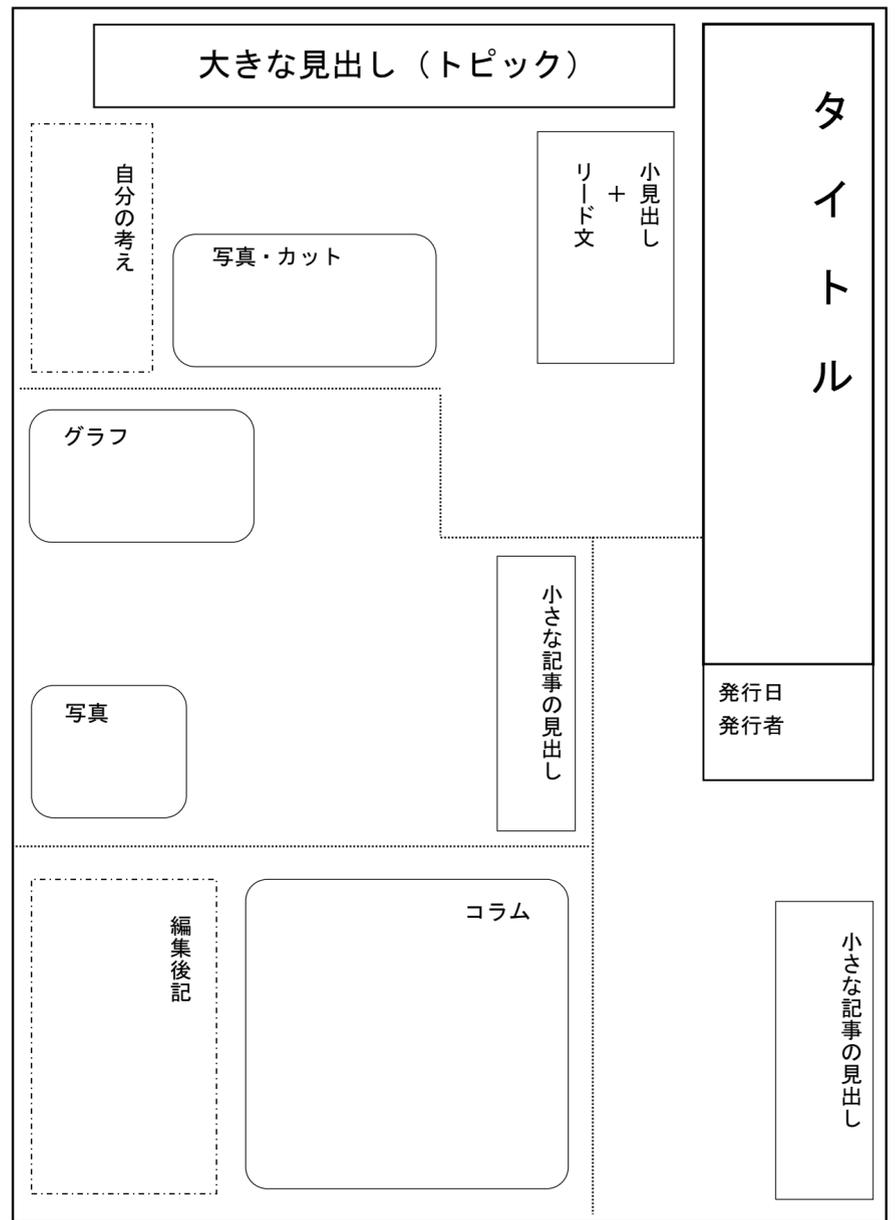
- ① 社会科見学で発見したことやインタビューしたことをメモする。
- ② 写真や資料を集める。
- ③ 取材したことをまとめる。

「いつ どこで だれが なにを なぜ どのように」をかみながら書く。感想もわずらわしく書く。

(2) 記事や写真などの場所と大きさを決めよう = 割付



(3) 下の例を参考にして、新聞の割付を考えましょう。



4 由研究をしよう

『図書館を使った調べる学習コンクール』に応募しよう
 テーマの決め方 研究の仕方 自由研究のまとめ方

(1) 作品づくりのポイント

「調べる学習をはじめたい」「作品をつくって応募してみたい」…『図書館を使った調べる学習』は、一人ひとりが船長になって大きな海を旅する「学びの大航海」です。

① テーマを考える

- 調べるテーマは自由！ テーマはなんでもかまいません
身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなど、「好きだな」「おもしろいな」と思えるテーマを自分で決めましょう。調べ学習のいちばん大切なスタート地点です。
- テーマを変えてもだいじょうぶ！
調べてみただけで…、「難しかった」「かんたんすぎた」「興味がなくなった…」、ということもよくあります。そんなときにはテーマを変えてみてよいのです。
- テーマを探しに図書館に行こう！
テーマが見つからないときは、図書館に行ってみよう。図書館の本棚はみなさんを待っています。自分では気付かなかったテーマとの出会いが、きっとあると思います。
- 相談しよう 「図書館で調べる学習をしてみたいです。でもテーマが決まらないのです」と図書館の先生に相談してみるのもいいでしょう。

② 調べる 調べる学習には、大きくわけて次の4つがあります。

- 1) 公共図書館や学校の図書館の本で調べてみる。
- 2) インターネットで情報を集めてみる。
- 3) 見る、聞く、試してみるなど、自分が経験することで調べてみる。
- 4) 専門家や経験者にたずねたり、アンケートを行ったりする。

調べる時の注意

- ① 情報源はなにか？ 著作権(ちよさくけん)は大丈夫？ 作品には調べた本を必ず書いておきましょう。
- ② 個人情報に注意 作品に人の顔の写真を貼ったり、聞き取ったお話を書いたりする場合には、「作品に載せてもいいですか？」と本人の許可をとりましょう。
- ③ 調べた図書館は？ 多くの方が図書館を使うようになるために「どこの図書館で資料を探したのか」を教えてください。図書館を使った感想も書いてもらえると、図書館をよくするための役立つ資料になります。

③まとめる

- 1) 自分の発想でまとめてみよう！
コンクールに応募される作品は、「もくじ」や「見出し」がある「本」のようにまとめた作品が多いです。でも、調べたことをまんがや物語などで表現する人もいます。みなさんの得意技や自由な発想を活かした作品づくりを楽しんでください。
- 2) 調べた「道のり」をまとめよう！
学びたいことを自由に学んで、みんなに作品として知らせる。これが調べ学習です。でも、みなさんの作品を読む人は、みなさんが「どうしてこのテーマを学んだのか」「どうやって学んだのか」について知りたいと思っています。テーマを決めたきっかけや調べていくなかで感じたこと、たいへんだったこと、うれしかったこと、思わぬ発見、そんな調べた「道のり」を審査の先生方は読んでみたいと思っています。

(2) 図書館を使った調べる学習コンクールに出品しよう

- ①まとめの注意(その1) … ページ数と文字数にきまりがあります
- ②まとめの注意(その2) … こわれやすい作品はないですか
- ③まとめの注意(その3) … 応募カードをしっかりと書いて完成

<まとめの目安>

サイズ：小学生はB4サイズまで 模造紙等でまとめる場合、折り畳んで上記のサイズにしてご応募ください。

ページ数(本編)：50ページ以内 目次、参考文献一覧を除く

※ 天気の記録や観察日記など、集めた情報がたくさんある場合は、「本編」のほかに、集めた資料をまとめた部分を「別冊」として応募することができます。

<必ず書くこと>

調べる時に利用した「資料名」、および「図書館名」を書いてください。

募集期間

毎年9月中旬から

応募方法

学校を通して応募

主催

公益財団法人
図書館振興財団

「応募カード」のつけ方



- 1作品につき「応募カード」は2枚必要です(コピー可)
- 別冊にも応募カードを貼付けて「別冊」と明記してください
- 1枚は、事務局でファイルしますので作品に貼らずにクリップなどで留めてください
- 1枚は、糊またはテープで作品裏表紙等にはがれないように貼付けてください

「応募カード」は個人情報です
 図書館振興財団では、「応募カード」を通じてお預かりした個人情報は、当該団体の個人情報保護方針に基づいて厳重に管理いたします。
 組織(学校・図書館など)でとりまとめて応募される場合は、組織の個人情報保護方針に沿って、応募者の個人情報を保護・管理していただきますようお願いいたします。

出典

<https://concourts.toshokan.or.jp/>